

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	肺癌関連遺伝子としての <i>RNU2-1</i> 遺伝子コピー数多型の解析
	研究対象者	肺癌と診断された患者さんのうち、2021 年 4 月から 2023 年 3 月までの間に神奈川県立がんセンターで手術、あるいは抗がん剤による治療を受けられた方
	研究目的	非コード RNA と呼ばれる種類の RNA を作る <i>RNU2-1</i> と呼ばれる遺伝子の数は、個人によって 5 個～80 個と幅があります。この研究では、この遺伝子の数と肺癌との関連、また、 <i>RNU2-1</i> 遺伝子の数を血液から推定するマーカーの探索、肺癌における <i>RNU2-1</i> 遺伝子の異常の有無、を解析します。この研究の成果は、肺癌患者さんの予後予測や、新規の治療法の開発に寄与できると来しています。
	研究方法	血液から抽出した DNA、あるいは手術で切り取られたがんの病理検体から抽出した DNA を使って、 <i>RNU2-1</i> 遺伝子の数や塩基配列の変化を調べます。また、血清からは、 <i>RNU2-1</i> 遺伝子から作られる RNA の血液中の量を測定して、遺伝子の数との相関を解析します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 9 月 4 日～西暦 2025 年 3 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[ ] 総長が研究実施を許可した日 [x] 西暦 2023 年 10 月 10 日頃 (研究の進捗によって前後いたします)
利用する試料・情報の項目 (チェック [X]が入った項目を利用します)	[x] 試料:	[ ] 血漿、[x] 血清、[ ] 全血、[x] 末梢血から抽出した DNA、 [x] 病理検体(具体的に記載: <u>手術で切除された肺癌とその周囲のがんではない組織のパラフィン切片</u> )、 [ ] 尿、[ ] 糞便、[ ] 唾液、[ ] 胸水、[ ] 腹水、[ ] 脳脊髄液、 [ ] 毛髪、[ ] その他(具体的に記載: _____)
	[x] 情報:	[x] 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[x] 年齢、[ ] 生年月日、[x] 性別、[x] 既往歴、[x] 併存疾患、[ ] 外来日・入院日・退院日、[ ] 臨床検査値、[ ] 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[ ] 臨床所見・経過 (予後追跡データを含む)、[ ] ゲノムデータ、[ ] 看護記録、[x] その他(具体的に記載: <u>家族歴、喫煙歴</u> )
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 臨床研究所・宮城洋平
	共同研究機関および責任者	施設名・氏名 杏林大学衛生学部・相磯聡子 東京大学医科学研究所・醍醐弥太郎
	その他の機関	該当なし
	外国へ提供する場合	該当なし

試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター臨床研究所・佐藤慎哉 連絡先：045-520-2222（がんセンター代表） 利用停止のお申し出は2023年11月30日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります
-------------------------	---